

Q: Windows2000・NT・XP で PC カードをフォーマットした場合、PC-001・PC-002・PC-201・PC-301 でデータ回収の際に以下のエラーが出てデータの転送ができません。

エラー-[1500]
フォーマットが じょう!

A: 記録器 Ver4.2(AA)以前のバージョンの PC-001・PC-201・PC-301 では、Windows2000・XP で PC カードをフォーマットした場合データ回収が出来ない場合があります。どうしても必要な場合は Windows95・98・Me で PC カードのフォーマットを実施することをお勧めします。

ご注意

通常のご使用では、出荷後の PC カードをフォーマットし直す必要はありません。カード内のデータを消去したい場合は、MS-DOS の場合は「DEL」コマンドを、Windows の場合はエクスプローラの「ファイル削除」の機能を使用してください。もし、何らかの理由で PC カードに異常が発生し、フォーマットを行いたい状況が発生した場合も、お手持ちのデータロガーのバージョンが古い場合は、この現象が発生する可能性がありますので、Windows2000・NT・XP 上では行わないでください。

詳細は以下をご参照下さい。

記録器バージョンの確認

まず、メニュースイッチを操作して下記のように「ROM バージョン」を表示させてみてください。

ROM バージョン

Ver3.0

ROM バージョン

Ver4.2(AA)

バージョンの数字が「4.2(AA)」以前の場合下記の現象が確認されています。上図例のバージョンの場合はいずれも本現象が発生する可能性があります。

不具合原因

Windows2000 もしくは WindowsXP のエクスプローラにて、PC カードをフォーマットした場合、PC カード内のマスターブートレコードにあるファイルシステムタイプ (FAT12 か FAT16 かもしくはそれ以外か) を示すデータが上記バージョンのデータロガーで認識できない値に書き換えられてしまうことがあり、そうなった場合に前述のエラー表示となります。

実際には、データロガーはファイルシステムタイプ (1 バイトのデータ) を見て、これが「01h」なら「FAT12」と、「04h・05h・06h」なら「FAT16」と判断し、それ以外のものには対応していないので、エラーとしていました。

MS-DOS や Windows95・98・Me まではそれで対応できていましたが、Windows2000 や WindowsXP になって、ファイルシステムは「FAT12」であるにも関わらず、ファイルシステムタイプのデータが「0Eh」となるものが出てきました。これは、大容量ディスクアクセスを効率良く行えるようなファイルシステムで、それまでのものとは多少性質が異なるものです。

なお、当社では Windows2000 および WindowsXP での検証しか行っていませんが、これらは WindowsNT の性質を受け継いだものであることから、WindowsNT でも上記エラーが出る場合があると考えられます。

不具合対策

現在は、この新しいファイルシステムタイプに対応したプログラムが作成されています。データロガーを当社までお送りいただければ、有償にてプログラムのバージョンアップをさせていただきますので、当社営業マンまでご相談下さい。

バージョンアップ後の ROM バージョンの表示は、「Ver3.0」は「Ver4.3」以降に、「Ver4.2(AA)」は「Ver4.2(BB)」以降となります。従いましてお手元の記録器が「Ver4.3」または「Ver4.2(BB)」以降であれば問題はありません。

データロガーのバージョンアップを行わずに、上記エラーを回避する方法としましては、下記の 2 点が挙げられます。

1. PC カードを当社までお送りください。初期出荷時と同じ状態に戻したのち、再度お届けいたします。
2. Windows95・98・Me の MS-DOS プロンプトから「FDISK」コマンドを用いて、PC カードに作成されている領域を一旦削除し、再度作成し直すことで、データロガーが認識可能な状態に戻すことができます。この場合、「FDISK」起動前に、パソコンの PC カードドライブに PC カードを挿入しておき、起動時に現れる「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N)?」という問いに対して「N」を選択してください。ただし、この方法は「FDISK オプション」のメニュー画面に「5.現在の装置を変更」という項目が無い場合や、パソコン自体が PC カードにアクセスできない場合は適用できません。

またこの他にも、外付けの PC カードドライブを使用していて、それに付属しているドライバやフォーマットツールを使用してフォーマットを行えば、PC カードをデータロガーが認識可能な状態に戻すことができる場合があります。